

unicef 
for every child

ユニセフ年次報告
2018

出典について：本報告書のデータは、ユニセフ（国連児童基金）、各国連機関、ユニセフの各国事務所が提出している年次報告書、ならびに2019年6月11～13日に行われた執行理事会に提出されたユニセフ事務局長年次報告書のデータに基づくものです。

印刷後の誤りや訂正は、<www.unicef.org/publications>でお知らせいたします。

ISBN: 978-92-806-5032-7

© United Nations Children's Fund (UNICEF)
June 2019

表紙：シャムラプール難民キャンプ近くの海で服を洗うジャスミンさん（7歳）。彼女はミャンマーからバングラデシュのコックスバザール地区に避難した何千人ものロヒンギャ難民のひとりです。

© UNICEF/UN0203392/Sokol

3ページ：シリアのハマ北部の農村部にあるアレクサンドリア学校を訪問中、教室で子どもたちといっしょに座るユニセフ事務局長ヘンリエッタ・フォア。

© UNICEF/UN0264631/AI-Droubi



ユニセフ年次報告

2018

一人ひとりの子どもの
権利のために

ユニセフ年次報告 2018

事務局長からのメッセージ

2018年1月のある晴れた寒い朝、事務局長としての新しい任に就くため、私はニューヨークのユニセフ（国連児童基金）本部の正面玄関をくぐりました。すべての子どもの権利を守るという崇高なミッションを持ったこの組織を率いていくことを光栄に感じていました。そして同時に、それ以上のことがしたいとも思っていました。私はすべての子どものチャンスを、もっと広げたくたかったです。

子どもたち以上に、大切な大義はない——という確信とともに。

2018年は、世界の子どもたちにとっても、ユニセフにとっても、ほかに例を見ない試練の年となりました。そしてそれはまた、ほかに例を見ないやりがいのある年でもあったのです。すばらしいパートナー、寛大なサポートにより私たちの活動を支えるご支援者、献身的なユニセフのスタッフたち、そして子どもと若者たち。これらのすべての人たちと達成してきた2018年の成果、そしてユニセフがその活動を通して掲げてきた価値観を私は大いに誇りに感じています。

世界最悪の長引く紛争の中心地に位置するユニセフ事務所を訪れた際の体験——それは2018年で最も心が揺さぶられるものでした——マリ、南スーダン、シリア、イエメンで、紛争の犠牲となった子どもたちの姿を目の当たりにしました。危機のとき、最も高い犠牲を払わされるのはいつも子どもたちです。

2018年は、数々の壊滅的な自然災害に見舞われた年でもありました。1年を通じてユニセフは、合計90カ国で300件近い人道的緊急事態に対応しました。

戦争時でも平和時でも、緊急事態や開発課題に対応する際、私たちはどのような事情や状況にある子どもたちであっても手を差し伸べます。ユニセフの目標は、世界で最も若い市民たちの命を守り、生活を改善することにあります。子どもたちが世界中のどこで暮らしていようと、それは変わることはありません。

子どもたちを病気から守るため、私たちは予防接種をします。安全な水と栄養を届けます。教育と現金給付を受けられるようにし、家族の暮らしを助けます。地域社会と協力し、病院、学校、水と衛生システムの再建に取り組みます。

こうした活動が、人々の顔を変えていくのを見てきました。困難を乗り越えて学校に通う誇らしげな子ども。必要な教育

と医療サービスをついに受けることができたわが子の姿に安堵する両親。武装勢力や武装集団に徴兵されていった子どもたちと再会した家族の涙と笑顔。ふるさとでは見つけることができなかった保護とチャンスを見つけた難民の子どもたちの意欲的な瞳……。

2018年、旅路で出会った子どもや若者たちのしばしば痛みを伴うストーリーに触れるたび、自分たちにはやるべきことがまだまだたくさんあるのだと確信しました。一方で、多くの希望に満ちたストーリーを聞くこともできました。ユニセフとパートナーが支援の現場でもたらしてきた具体的な成果にまつわる話です。

例えば、イエメンのアデンにある心理社会支援センターで出会った少女ファティマ。彼女は私に、ふるさとで暴力から逃れたときのことを話してくれました。今、ふるさとの仲間と再び連絡を取ろうとしていると語り、描いた絵を見せてくれました。晴れた日に公園で座っている女の子の絵。ユニセフが支援するセンターのスタッフが言うには、到着したばかりの頃は、いつも銃と血の絵を描いていたそうです。

こうしたものの見方の劇的な変化は、まさに、危機に巻き込まれたすべての子どもたち——ひいては世界中すべての子どもたち——に私たちがもたらしたいと願う結果そのものです。今この瞬間に感じられる安心と幸福、そして未来への希望。

2018年、ユニセフは総支出のおよそ半分を人道支援活動に充てました。しかしユニセフの活動はそれだけに留まりません。私たちは190以上の国や地域で、子どもたちの健康・栄養・教育・保護、さらには水と衛生において持続可能な改善をもたらすことを目指し、プログラムを実施しています。

これまで数十年間、ユニセフはすばらしいパートナーとともに、新生児の生存率や幼児の栄養状態など、子どもの健康と福祉にとって非常に重要な指標を劇的に向上させてきました。

さらに近年、幼児期における学習と刺激が子どもに優れた長期的な影響を与えるという認識が高まっていることを受け、幼児期の発達における取り組みも強化しています。

2018年には、子どもが思春期そして青年期へと移行する10代の期間にも重点を置きました。こうした若者たちと話し、彼らの生の声を聞き、そのビジョンから刺激を受けられることは、私の仕事の中で最もすばらしいことのひとつです。しかし一方で、若者たちが将来に不安を感じていることもわかりました。



若者たちは、必要な教育やスキルが得られないのではないかと、また仕事が見つけれられないのではないかと心配しています。また、家庭やインターネット上、学校、地域社会で直面する暴力にも不安を感じています。特に女の子は、ただ女の子であるがために直面する終わりのない差別と暴力に怯えているのです。

国際社会として、私たちは若者たちの声を無視することができません。何といても彼らこそが、私たち全員の未来の担い手だからです。

若者たちに高い関心を向けるうえで、2018年の私たちの活動の目玉となったのは、「Generation Unlimited」（無限の可能性を秘めた世代）の立ち上げでした。

この国際的な取り組みを通して、ユニセフはパートナー、そして若者たち自身とともに、野心的ではあるものの達成可能だと考える目標に向けて協力していきます。それは、2030年までに、すべての若者が教育、訓練を受ける、または年齢に合った仕事に就くことです。

その目標に向け、「Generation Unlimited」は取り残されている人々や社会から疎外された人々を含むすべての若者たちに、彼らが直面する21世紀の課題を解決するための最先端のサポートを提供していきます。次のステップは、そうしたサポートを大規模に実行するために公的機関や民間企業により幅広い支援を求め、より多くの国や地域でさらにたくさんの方々に手を差し伸べることです。

全世界で18億人という巨大な若者層をビジネスチャンスの対象と認める民間企業のパートナーから、大きな支援が得られると私たちは考えています。これらのパートナーはより大きな企業社会責任を果たすために努力し、また、その中に才能ある未来の人材を探していくことでしょう。

言うまでもなく、私たちの現在の努力と未来への希望は、世界中のユニセフのスタッフの献身的な努力や能力、そしてレジリエンス(回復力)なしに実現できるものではありません。ユニセフで働く女性たちや男性たち、特に現地事務所で働くスタッフたちは、自らの安全、個人的生活や家庭生活への課題など、大きな障害に直面する可能性があります。彼らのすばらしい仕事は感謝されてしかるべきものですが、彼らは賞賛だけでなく、彼らが直面するあらゆる困難に対して強力なサポートも受けてしかるべきです。

2018年ユニセフは、ケア、尊重、誠実性、信頼、アカウンタビリティ（説明責任）という私たちの中心的価値観に基づいて運営される文化を育むことによって、そのような支援を提供するために重要な一歩を踏み出しました。これらの取り組みは2019年にも加速していきます。

2019年、世界は子どもの権利条約の採択30周年を迎えます。ユニセフは、世界中の子どもたちと若者の権利を守り、変化するニーズを満たしていくために、たゆみない努力をこれからも続けていきます。

私たちは、すべての人に機会を広げることに全力で取り組みます。この並はずれた組織を率いることになったあの冬の日以上に、私は今、成功への確信を持っています。

ヘンリエッタ・フォア
ユニセフ事務局長

目次

事務局長からのメッセージ 2

はじめに 6

継続的な進歩
乗り越えるべき課題
戦略計画の実行
未来に向けて



目標分野 1 すべての子どもが命を守られ健全に発育すること 12

保健
予防接種
栄養
HIV／エイズ
乳幼児期の子どもの発達
人道的状況
実行能力の強化



目標分野 2 すべての子どもが学ぶ機会を得ること 20

学習成果
教育への公平なアクセス
能力開発
緊急事態下の教育
国際社会の固い決意



目標分野 3 すべての子どもが暴力や搾取から守られること 26

暴力、性的搾取、虐待の防止
人道支援
児童婚と女性性器切除
司法上の課題
システムの強化
世界的な誓約



目標分野 4 すべての子どもが安全で衛生的な環境で暮らすこと 32

水と衛生
防災、平和構築、都市計画
気候変動、エネルギー、環境



目標分野 5 すべての子どもが人生において公平な機会を得ること 38

社会保障
青少年の成長
ジェンダー平等
障がいのある子どもたち
世界的な取り組み

人道支援 42

焦点を絞った対応
開発と人道支援活動をつなぐ
世界的な取り組み

ジェンダーの平等 46

ジェンダー平等の主流化

開発のためのコミュニケーション 50

指標と成果
リーダーシップとアドボカシー（政策提言）

パートナーシップと財政管理 54

新たな資金調達方法
企業との連携
戦略的な調達
イノベーションと研究
ユニセフの価値観